北アメリカ州

名前

問1　アメリカ合衆国の乾燥地域で行われているセンターピボット方式を用いた農業の説明として、その背景と課題をまとめたものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 地下水を汲み上げることで降水量の少ない地域での大規模生産を実現したが、過剰な利用による地下水の枯渇が懸念されている。
2. 熱帯の広大な土地において、安価な労働力を利用してコーヒーやカカオなどの輸出用作物を単一栽培している。
3. ミシシッピ川の下流部において、豊富な地表水を利用した稲作を行うことで、世界最大の米輸出拠点となっている。
4. 山岳地帯の傾斜地において、土壌の流出を防ぐために階段状の耕地を作り、高度な機械化農業を行っている。

問2　アメリカ合衆国西海岸のサンフランシスコ付近を中心として発展している産業の特色について、最も適切な説明を選んでください。（2016年 山口県公立入試 類似）

1. 五大湖周辺の豊富な資源を背景に、鉄鋼や自動車などの大規模な重工業が発達している。
2. 半導体やソフトウェアの開発など、高度な知識や技術を必要とする先端技術産業が集中している。
3. 広大な平原において、航空機や大型機械を用いた企業的な穀物農業と畜産が行われている。
4. 温暖な気候と低賃金の労働力を求めて、航空機産業や電子部品の工場が急速に増加した。

問3　北アメリカ大陸の東海岸側に位置する地域で、1776年に独立を宣言した国に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 19世紀半ばまでイギリスの植民地として統治され、20世紀に入ってから太平洋沿岸部を中心に開拓が始まった。
2. ポルダーと呼ばれる大規模な干拓地を造成することで国土を広げ、農業を基盤とした経済発展を遂げた。
3. 建国後、東部から西部へと開拓を進めることで国土を広げ、現在は政治や経済などの面で国際社会をけん引している。
4. 1917年に起こった革命をきっかけとして建国され、その後、東部の未開拓地へと勢力を拡大していった。

問4　アメリカ合衆国の中央平原で生産されたトウモロコシや大豆などの農産物を、輸出のために港まで運ぶ際、輸送コストを抑えるために最も一般的に利用されている手段と経路の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 石川県公立入試 類似）

1. ロッキー山脈を越えるパイプラインを利用して、大西洋に面した港へ運ぶ
2. ミシシッピ川などの内陸水路を利用して、メキシコ湾に面した港へ運ぶ
3. 五大湖から鉄道網のみを利用して、太平洋に面した港へ運ぶ
4. ミシシッピ川から運河を利用して、北極海に面した港へ運ぶ

問5　首都をオタワに置く北アメリカの国は、国土が非常に広く、場所によって気候や産業に大きな特徴があります。この国の地理的・産業的特徴を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. 南半球に位置する島国であり、広大な草原を利用した羊の放牧や、羊毛の輸出が産業の中心となっている。
2. 赤道直下に位置し、熱帯雨林が広がる国土を利用して、カカオやコーヒー豆などの嗜好品の栽培が最も盛んである。
3. 国土の大部分が砂漠であり、ナイル川のような大河の周辺にのみ人口が集中し、小麦の生産が経済を支えている。
4. 広大な国土に鉄鉱石や天然ガスなどのエネルギー資源を豊富に蓄えており、世界有数の資源輸出を行っている。

問6　日本が輸入する資源や農産物のうち、アメリカ合衆国からの輸入が約46%、カナダからの輸入が約34%を占める品目があります。この2カ国からの輸入が特に多い、住宅の建築資材などに利用される品目はどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 石炭
2. 鉄鉱石
3. 天然ガス
4. 木材

問7　アメリカ合衆国のピッツバーグが、世界有数の鉄鋼業の街として発展した地理的な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. メキシコ湾沿岸で産出される石油と天然ガスを主な原料とし、パイプライン網が整備されていたから。
2. 西部の山岳地帯で産出される金鉱や銀鉱の加工拠点として、内陸鉄道網が集中していたから。
3. 安価な労働力が豊富に得られるメキシコとの国境付近に位置し、輸出拠点として有利だったから
4. 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。

問8　2016年における主要国の輸出統計の説明として、日本の輸出相手国の特徴とアメリカ合衆国の動向を組み合わせたものとして最も適切な説明文を選びなさい。（2019年 岩手県公立入試 類似）

1. ドイツはEU域内での貿易が盛んなため世界第2位の輸出総額を誇り、日本やアメリカ合衆国にとって最大の輸出相手国となっている。
2. 日本の最大の輸出相手国は中国であり、世界最大の輸出総額を誇る中国にとっても、日本が最大の輸出相手国となっている。
3. アメリカ合衆国は世界最大の輸出総額を誇る国であり、日本にとって最大の輸出相手国であるとともに、ドイツを最大の輸出相手国としている。
4. 日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国であり、そのアメリカ合衆国自身にとっての最大の輸出相手国は隣接するカナダである。

問9　世界の主な農産物の輸出量において、ロシアが16.8%、アメリカ合衆国が13.9%、カナダが11.2%を占めて上位3か国となっている穀物があります。北アメリカの中央平原などで大規模に栽培されているこの農産物として正しいものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 綿花
2. 大豆
3. とうもろこし
4. 小麦

問10　アメリカ合衆国における移民の傾向について述べた次の記述のうち、統計的な事実として最も適切なものはどれですか。なお、近年の入国者数の推移をみると、1990年代から2010年代にかけて一貫してメキシコが第1位となっており、次いで中国、フィリピン、キューバなどの国々からの流入が続いています。（2022年 兵庫県公立入試 類似）

1. アフリカ諸国からの入国者数が最も大きな割合を占めており、労働力不足を補う主要な要因となっている。
2. 1990年代以降、ヨーロッパ諸国からの移民が全体の8割以上を占めるようになり、伝統的な文化が再構築されている。
3. 地理的に近いメキシコなどの中南米諸国からの移住者が多く、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が高まっている。
4. カナダやイギリスなど、公用語が英語である国々からの移住者が急増しており、文化の同質化が進んでいる。

問11　アメリカ合衆国の1人あたり農地面積は約154.7ヘクタールであり、中国の約3.1ヘクタールと比べて圧倒的に広いことが知られています。このデータから読み取れる、両国の農業の特徴に関する記述として最も適切なものを選択してください。（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国は少人数で広大な農地を経営するため、1人あたりの穀物生産量が多くなる。
2. 中国は少人数で広大な農地を経営するため、1人あたりの穀物生産量がアメリカ合衆国より多くなる。
3. 中国は1人あたりの農地面積が広いため、アメリカ合衆国よりも大規模な農業が行われている。
4. アメリカ合衆国は多くの労働力を必要とするため、農業従事者数が中国よりも多くなる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 地下水を汲み上げることで降水量の少ない地域での大規模生産を実現したが、過剰な利用による地下水の枯渇が懸念されている。	センターピボット方式は、オガララ帯水層などの化石地下水を主な水源としています。しかし、自然に蓄積される量を上回るペースで地下水を汲み上げ続けているため、水位の低下や枯渇が深刻な環境問題となっており、持続可能な農業への転換が求められています。
問2	答え 2 半導体やソフトウェアの開発など、高度な知識や技術を必要とする先端技術産業が集中している。	サンフランシスコ近郊のシリコンバレーは、IC（集積回路）の原料である半導体の生産から始まり、現在では世界をリードするIT企業が多数拠点を置く「先端技術産業」の集積地として知られています。五大湖周辺の重工業地域や、南部から西部に広がるサンベルトの工業化とは、発展の背景や産業構造が異なります。
問3	答え 3 建国後、東部から西部へと開拓を進めることで国土を広げ、現在は政治や経済などの面で国際社会をけん引している。	アメリカ合衆国は1776年に独立を宣言し、当初の大西洋沿岸13州から「フロンティア」と呼ばれる開拓前線を西へと進めることで領土を拡大しました。1917年の革命はロシアの内容であり、ポルターはオランダに見られる干拓地のことです。また、アメリカは18世紀には既に独立を果たしており、19世紀までイギリスの植民地であったという説明は誤りです。
問4	答え 2 ミシシッピ川などの内陸水路を利用して、メキシコ湾に面した港へ運ぶ	アメリカ合衆国の中央部は広大な農業地帯となっており、収穫された大量の穀物を効率よく輸出拠点まで運ぶ必要があります。ミシシッピ川とその支流からなる水系は、北米大陸を南北に貫く広大な内陸水路網を形成しており、これを利用することで重量のある農産物をメキシコ湾の港まで安価に運ぶことが可能です。鉄道網とも連携していますが、長距離の大量輸送においては水運が重要な役割を果たしています。
問5	答え 4 広大な国土に鉄鉱石や天然ガスなどのエネルギー資源を豊富に蓄えており、世界有数の資源輸出を行っている。	カナダは広大な国土を生かした小麦の栽培だけでなく、盾状地（カナダ盾状地）と呼ばれる古い地層から産出される鉄鉱石や、西部で採掘される石油・天然ガスといった地下資源の輸出が経済を支えています。他の選択肢は、アフリカやオセアニアの国々の特徴を述べたものであり、北アメリカ北部に位置するカナダの状況とは異なります。
問6	答え 4 木材	日本の国土の約3分の2は森林ですが、安価な外国産資源への依存が高い状態にあります。特に北米のアメリカ合衆国やカナダからは、住宅建設に適した針葉樹の木材が多く輸入されており、これら北米地域が主要な輸入先となっています。
問7	答え 4 近隣で石炭と鉄鉱石を容易に得ることができ、五大湖などを結ぶ水上交通も利用可能であったから。	ピッツバーグは、アパラチア炭田の石炭や五大湖周辺の鉄鉱石という、鉄鋼生産に不可欠な資源の産地が近接していました。これに加え、五大湖や河川などの水上交通を利用して重量物である原料を効率よく運搬できたことが、巨大な工業地帯へと成長する要因となりました。
問8	答え 4 日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国であり、そのアメリカ合衆国自身にとっての最大の輸出相手国は隣接するカナダである。	2016年の統計資料に基づくと、日本の輸出において最も大きな割合（約20.2%）を占めるのはアメリカ合衆国です。一方、アメリカ合衆国の輸出先を見ると、地理的な近接性からカナダが約18.3%で第1位となっています。なお、輸出総額の世界1位は中国であり、アメリカ合衆国は第2位、ドイツは第3位という順位になっています。
問9	答え 4 小麦	ロシア、アメリカ合衆国、カナダの3か国で世界の輸出量の約4割を占めているのは小麦です。小麦は乾燥に比較的強く、北アメリカの中央平原や、ロシアからウクライナにかけての黒土地帯（チェルノーゼム）などで広範囲に栽培されています。とうもろこしや大豆もアメリカが主要な生産・輸出国ですが、ロシアが輸出の首位となっている点が小麦を特定する大きな指標となります。
問10	答え 3 地理的に近いメキシコなどの中南米諸国からの移住者が多く、ヒスパニックと呼ばれる人々の割合が高まっている。	アメリカ合衆国は、地理的に隣接するメキシコをはじめ、中南米のスペイン語圏から多くの移民を受け入れています。これらの人々は「ヒスパニック」と呼ばれ、現在の人口構成において大きな影響力を持っています。また、近年では中国やフィリピンなどからのアジア系移民も増加しており、多民族・多文化社会としての側面がより強まっています。
問11	答え 1 アメリカ合衆国は少人数で広大な農地を経営するため、1人あたりの穀物生産量が多くなる。	アメリカ合衆国では1人あたりの農地面積が非常に広いため、少ない農業従事者数で広大な農地を管理しています。その結果、1人あたりの穀物生産量は中国と比べて非常に多くなります。